



酪農で“国内最大級のメガファーム”

有限会社希望園 (笠岡市カブト東町132)

TEL : 0865-66-4403 / URL : <https://kibouen-dairy.co.jp/>

取材年月日：令和7年3月12日



経営概要

従業員数	約100名 (技能実習生、パート含む)
飼養頭数	2,500頭 (R7.2月末)
年間産乳量	約25,000トン
取組の経緯	ここ20年で、毎年廃業していく酪農家の仲間の姿を目の当たりにし、このままではいけないと、海外視察での効率的なスマート農業に感銘を受け、岡山県でも実現しやすい機械化に取り組んだ。『人にも牛にも環境にも優しい』酪農を目指す。



取組内容

牛舎施設	米国で取り入れられている牛舎内である程度自由に動き回れるフリーストール牛舎を導入するとともに、畜舎内の通風にはカナダの技術を導入し、片側の壁面のみ大型換気扇を設置し、広範囲に風の流れを作り、換気、冷却、床の乾燥等を行っている。
搾乳施設	搾乳は1日3回行い、搾乳機は、国内最大のロータリーパーラー (72頭用) を導入し、現在、2,100頭の搾乳が5時間で可能。搾乳作業は、5名の作業員 (パート含む) で行っており省力化を実現。生乳は、隣接するタンク (20トン×4本) にラインで送られる。その際、プレートクーラー (5秒程度で5度以下まで冷却可能) により、細菌の増殖を防ぐなど品質管理を徹底。
和牛の生産肥育	和牛の受精卵移植で、月に60~70頭の和牛を生ませて、9か月肥育し、市場に出荷することにより、収益の確保を図っている。
個体管理	個々の牛は、首に装着したISOタグで、発情、泌乳量、病歴、活動状況等をデータ管理している。搾乳時には、赤外線、3Dカメラ、ISOタグを併用することで、ロータリーパーラーでの搾乳順を監視しており、搾乳データに齟齬が生じないように管理されている。
粗飼料の確保	粗飼料は、農業生産法人「干拓コントラ」(平成15年11月設立、組合員5名) の一員として、デントコーンを二期作栽培 (約70ha) ・給餌することで、飼料費の削減や堆肥の有効利用を実現。



今後の展望

毎日、笠岡湾干拓地内のかぶとバイオファーム発電所に200トンの排せつ物をタンクローリーで搬入し、発酵処理で発生する消化液を2倍濃縮した液肥を粗飼料栽培に活用するなどの地域内資源の循環利用を推進。



ロータリーパーラー



フリーストール牛舎